

# 卒業生調査（2021年度実施）

## 調査結果 【概要版】

- 調査期間：2021年8月6日（金）～8月29日（日）
- 調査方法：Microsoft FormsによるWebアンケート
- 調査内容：在学中に力を入れたこと・活動の有用性／修得した資質・能力  
社会で求められている資質・能力／本学に対する評価 等
- 調査対象：2014年3月卒業生1,945名、2018年3月卒業生2,063名、計4,008名
- 回答者数：451名【回答率：11.3%】  
(学部別の回答者数について本ページ下部参照)

### Special Thanks!!

アンケートにご回答いただいた451名の卒業生の皆さま、改めてお礼申し上げます。

お寄せいただいた回答は、個人が特定できないよう統計的に処理・集計したうえで各学部や事務局等に共有し、今後よりよい大学運営を行っていくために活用します。

京都産業大学は引き続き、皆さんの意見を「むすんで」、  
よりよい大学の形を「うみだす」ことに努めていきます。

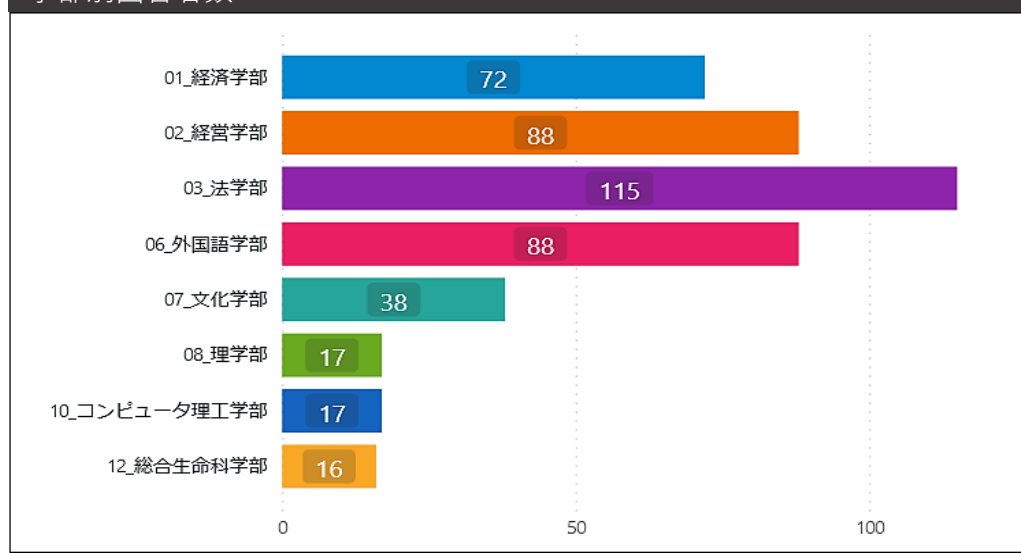
またご意見をお聞かせいただくこともあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



### Index

|                     |      |
|---------------------|------|
| 在学中に力を入れたことについて     | P. 2 |
| 在学中の活動の有用性について      | P. 3 |
| 修得した資質・能力について       | P. 4 |
| 社会で求められている資質・能力について | P. 6 |
| 京都産業大学に対する評価について    | P. 8 |

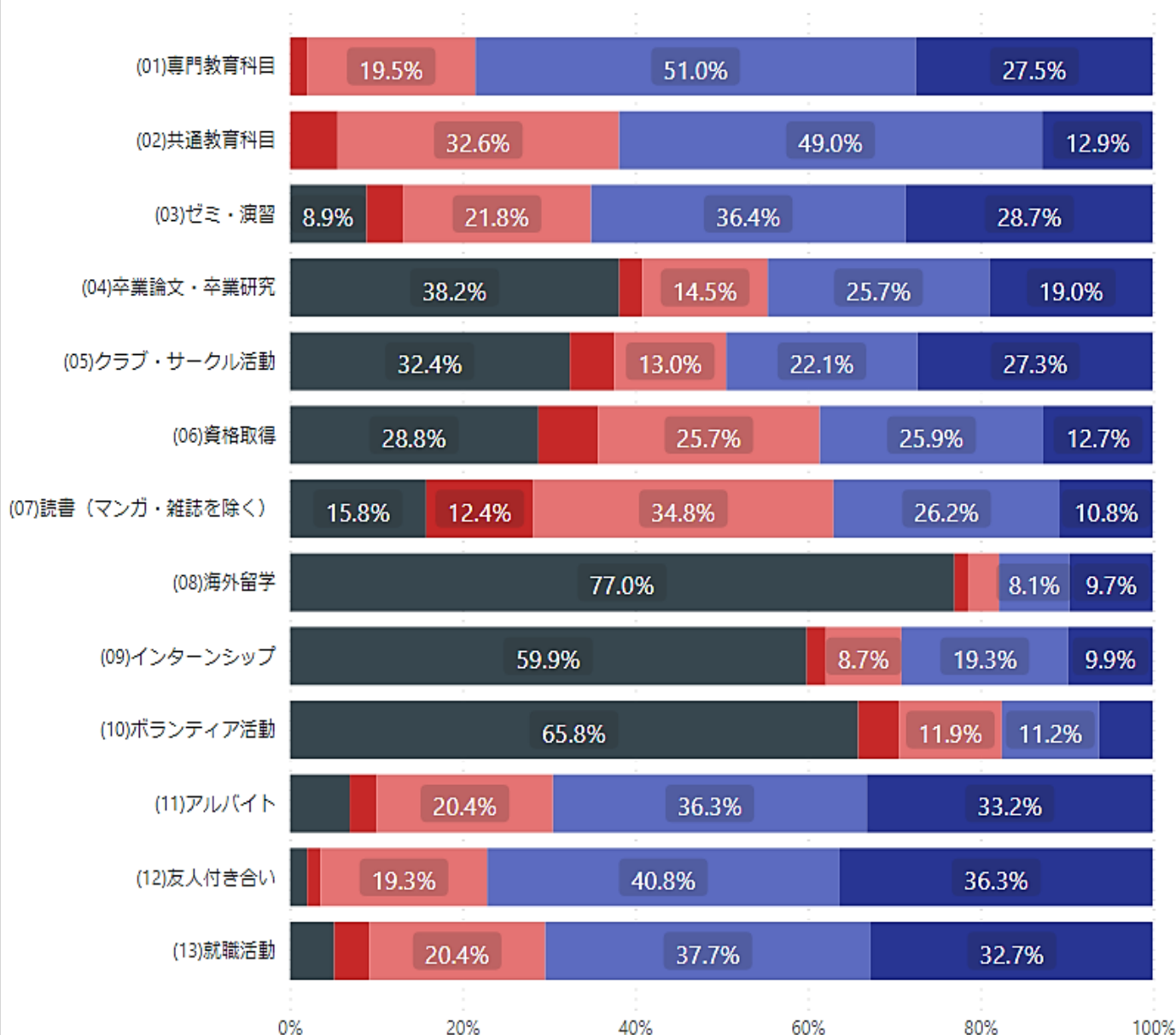
### 学部別回答者数



# 在学中に力を入れたことについて

「在学中に力を入れたこと」の回答分布

●0\_取組まなかった ●1\_まったく力を入れなかった ●2\_あまり力を入れなかった ●3\_やや力を入れた ●4\_とても力を入れた



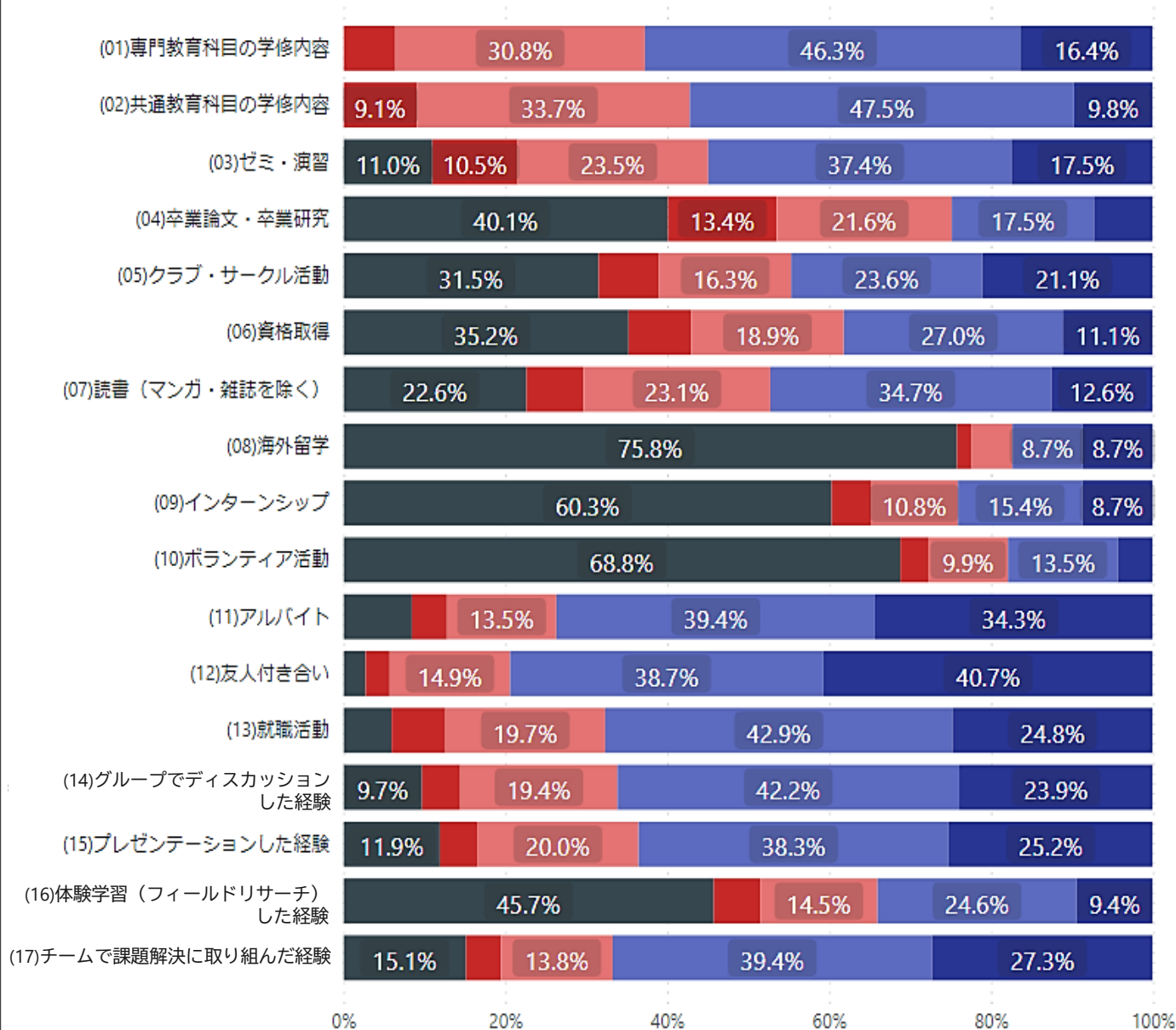
## Point

- 「とても力を入れた」と「やや力を入れた」の合計の割合が最も高いのは「専門教育科目」の78.5%。次いで「友人付き合い」の77.1%。
- 「クラブ・サークル活動」は「まったく力を入れなかった」と「取組まなかった」の合計の割合が37.6%。6割以上の学生がクラブ・サークルの活動に参加していたことがわかる。

# 在学中の活動の有用性について

「在学中の活動の社会での有用性」の回答分布

●0\_取組んでいない ●1\_まったく役立っていない ●2\_あまり役立っていない ●3\_やや役立っている ●4\_とても役立っている



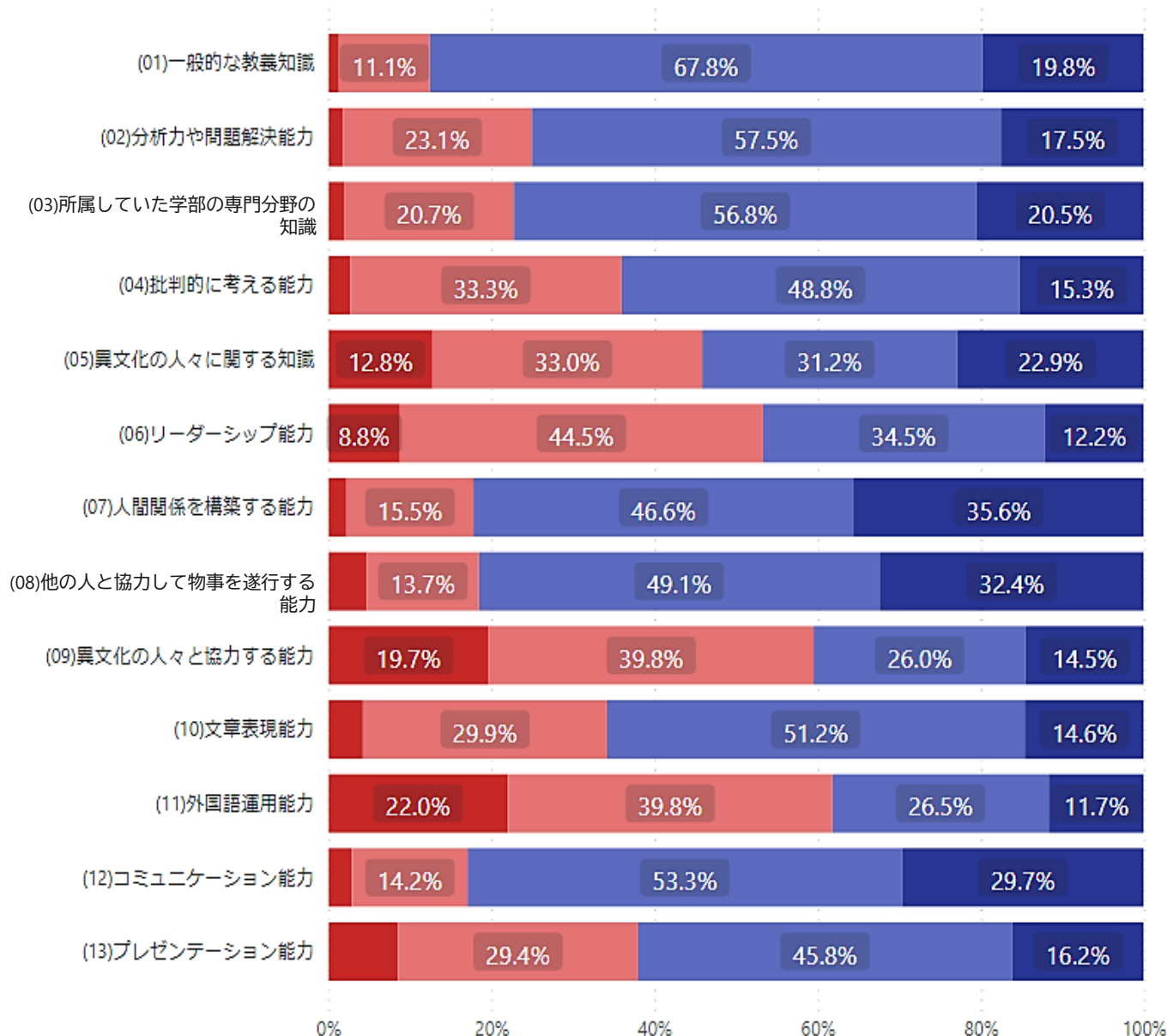
## Point

- 「とても役立っている」と「やや役立っている」の合計の割合が最も高いのは、「友人付き合い」の79.4%。次いで「アルバイト」の73.7%。「チームで課題解決に取り組んだ経験」も66.7%と高い傾向。

# 修得した資質・能力について（1）

## 「在学中に修得した資質・能力」の回答分布

●1\_まったく身に付かなかった ●2\_あまり身に付かなかった ●3\_やや身に付いた ●4\_とても身に付いた



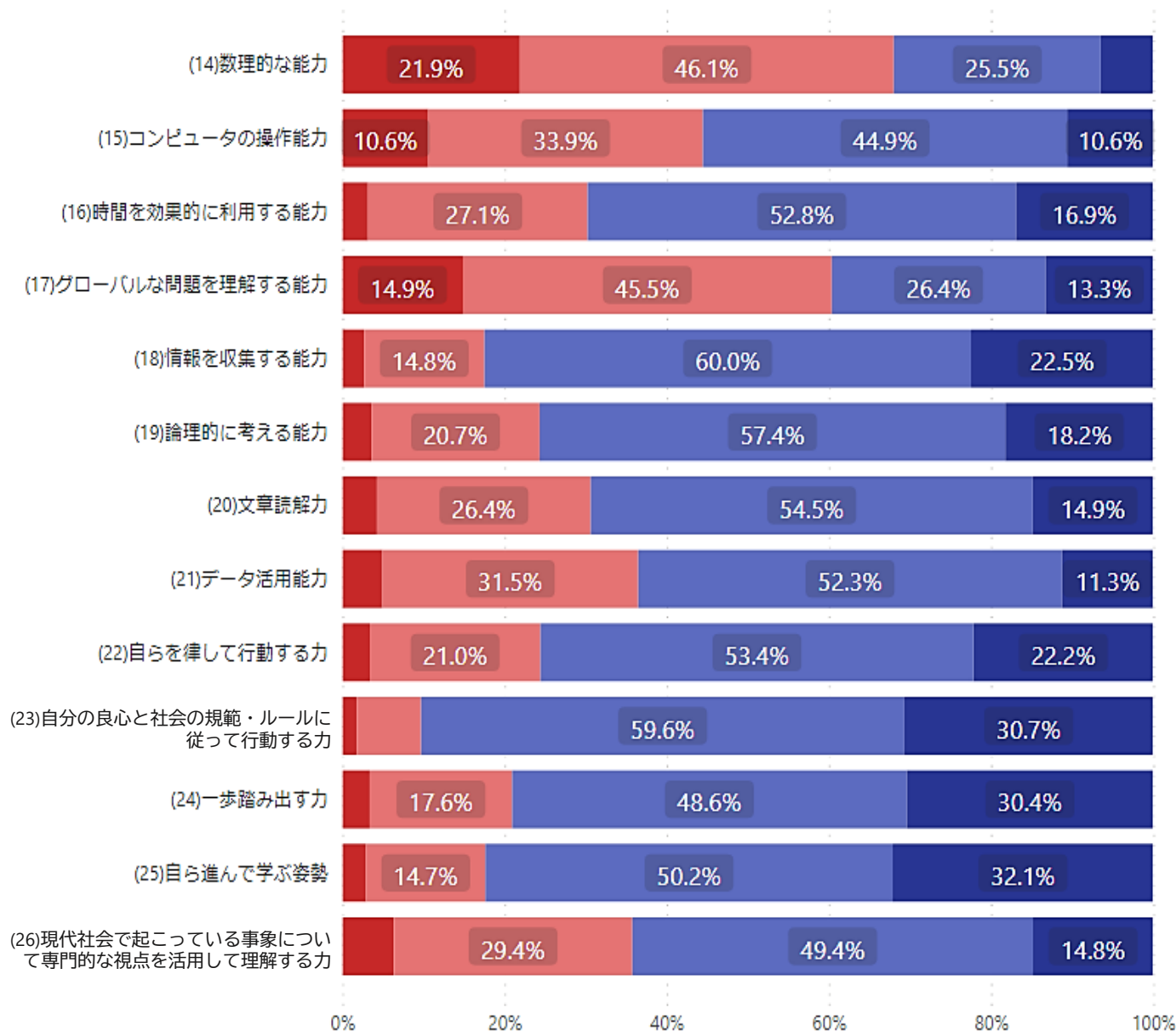
### Point

- 「とても身に付いた」と「やや身に付いた」の合計の割合に着目すると、「人間関係を構築する能力」が82.2%、「他の人と協力して物事を遂行する能力」が81.5%、「コミュニケーション能力」が83.0%などが高い。いずれも協働性・協調性に関する資質・能力である。

## 修得した資質・能力について（2）

「在学中に修得した資質・能力」の回答分布

● 1\_まったく身に付かなかった ● 2\_あまり身に付かなかった ● 3\_やや身に付いた ● 4\_とても身に付いた



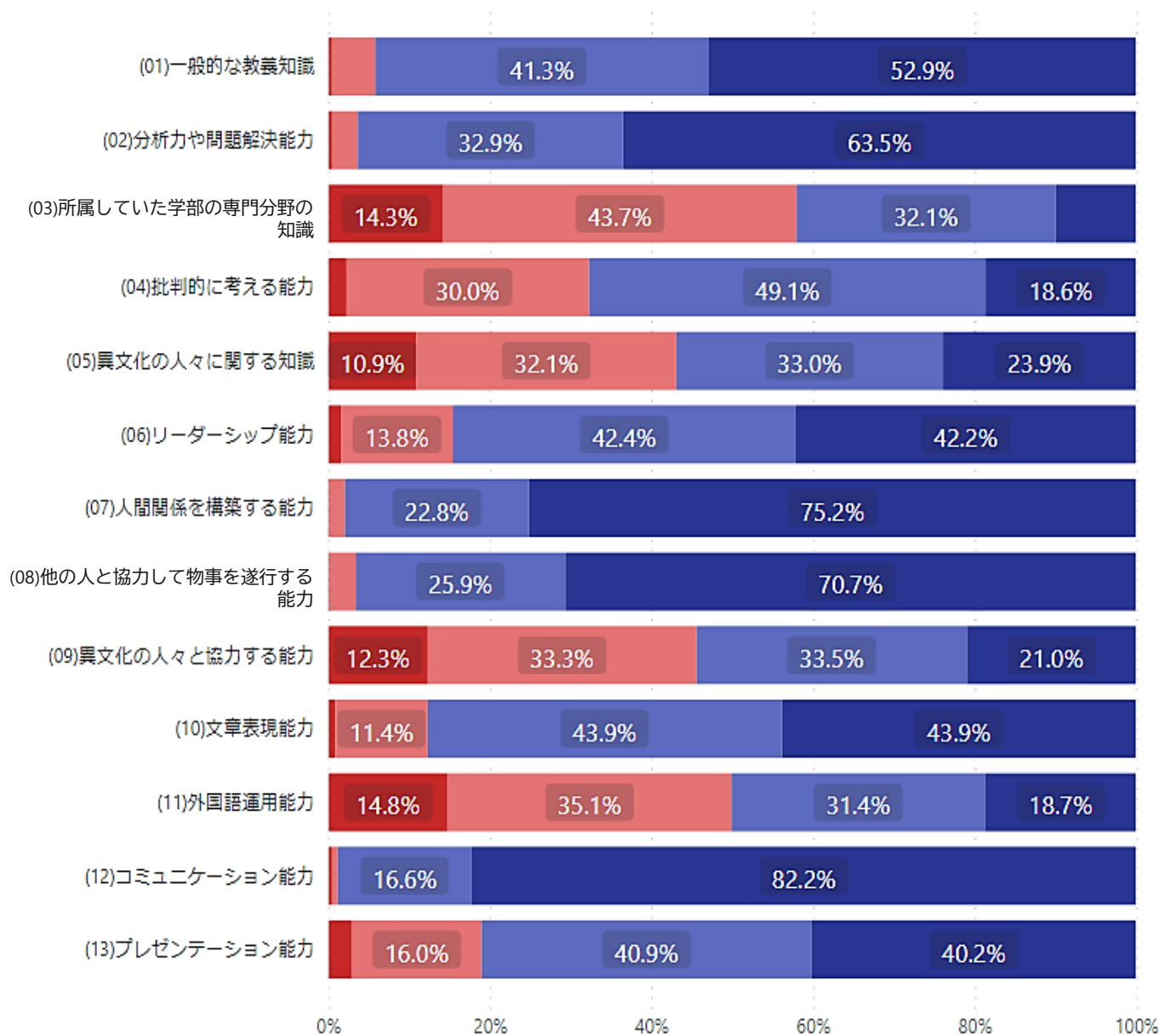
### Point

- 「とても身に付いた」と「やや身に付いた」の合計の割合が最も高いのは、「自分の良心と社会の規範・ルールに従って行動する力」の90.3%。
- 「数理的な能力」は「とても身に付いた」と「やや身に付いた」の合計の割合が32.0%であり、最も修得ができていない資質・能力である。

# 社会で求められている資質・能力について（1）

「社会で求められる資質・能力」の回答分布

● 1\_まったく求められていない ● 2\_あまり求められていない ● 3\_やや求められている ● 4\_とても求められている



## Point

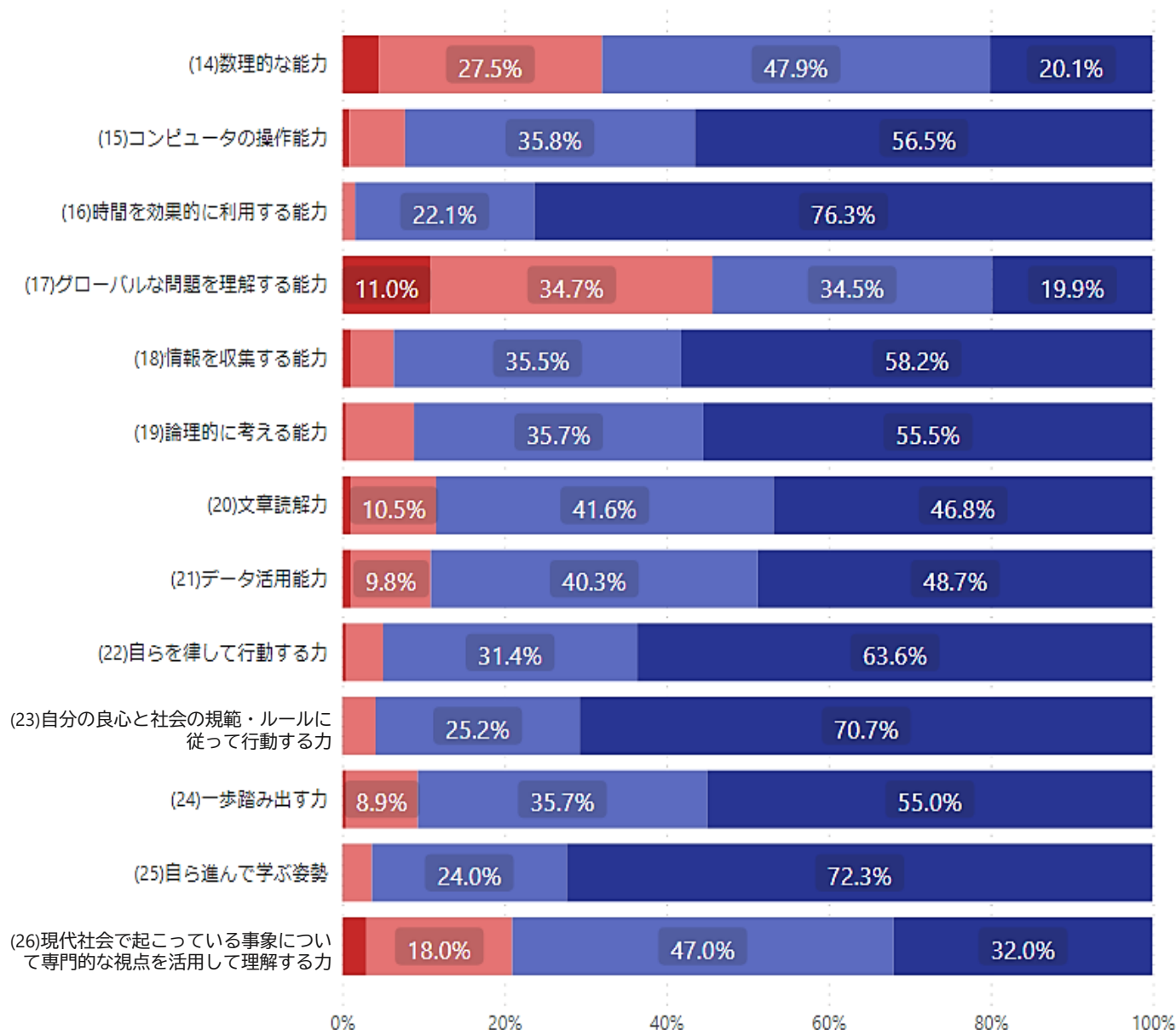
- 「とても求められている」と「やや求められている」の合計の割合に着目すると、「人間関係を構築する能力」の98.0%、「他の人と協力して物事を遂行する能力」の96.6%、「コミュニケーション能力」の98.8%などが高い。いずれも協働性・協調性に関する資質・能力である。



## 社会で求められている資質・能力について（2）

「社会で求められる資質・能力」の回答分布

●1\_まったく求められていない ●2\_あまり求められていない ●3\_やや求められている ●4\_とても求められている



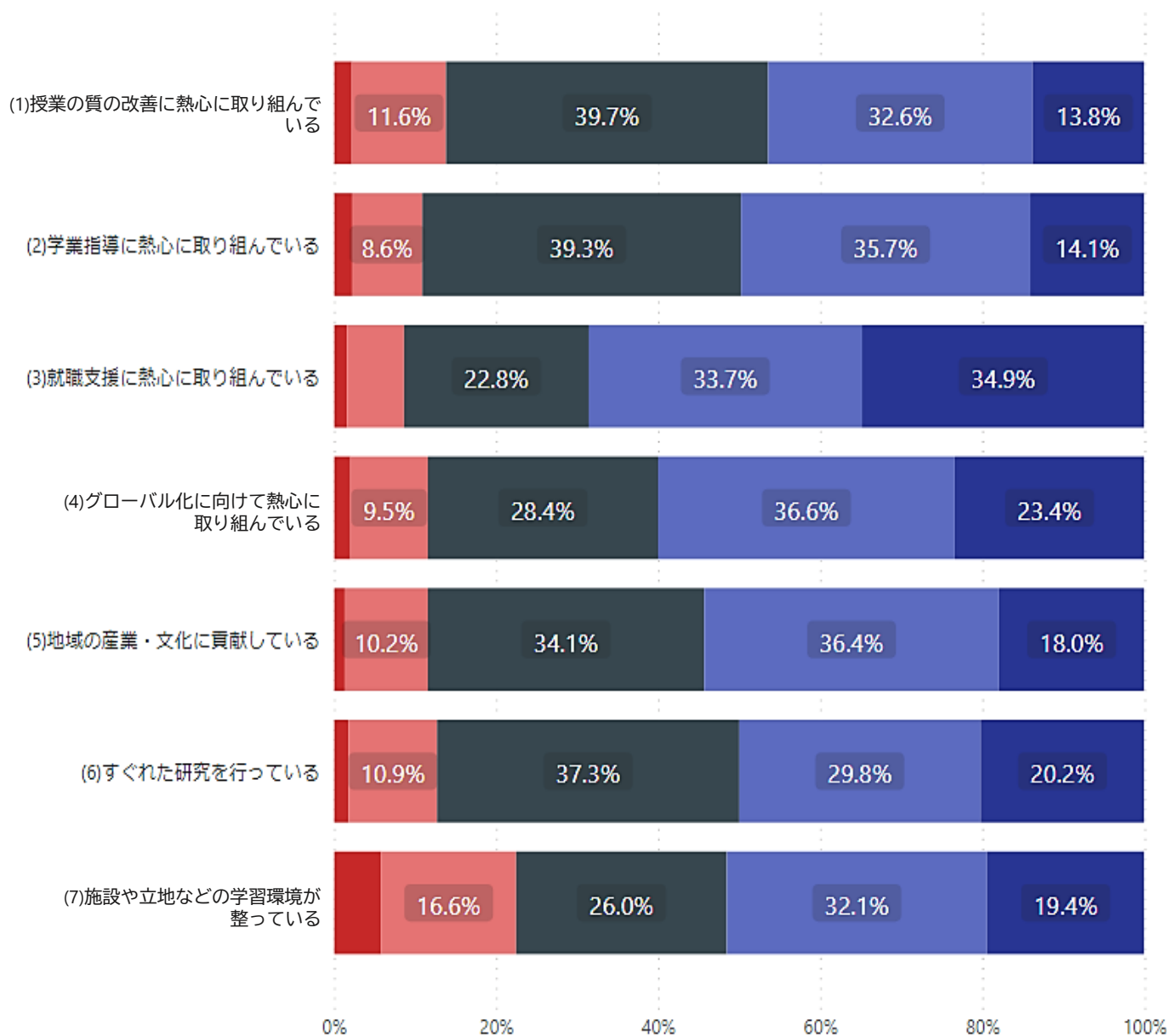
### Point

- 「とても求められている」と「やや求められている」の合計の割合に着目すると、「時間を効果的に利用する能力」の98.4%、「自分の良心と社会の規範・ルールに従って行動する力」の95.9%、「自ら進んで学ぶ姿勢」の96.3%などが高い。

# 京都産業大学に対する評価について

「京都産業大学に対する評価」の回答分布

● 1\_まったくそう思わない ● 2\_あまりそう思わない ● 3\_どちらともいえない ● 4\_ややそう思う ● 5\_そう思う



## Point

- 「就職支援に熱心に取り組んでいる」は「そう思う」の34.9%、「ややそう思う」の33.7%を合計すると68.6%。評価に関する7項目の中で、最も評価が高い。
- 評価が最も低い項目は「授業の質の改善に熱心に取り組んでいる」であり、「そう思う」の13.8%、「ややそう思う」の32.6%を合計すると46.4%。